

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	ハッピーテラス山田東教室（児童発達支援）				公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	基準以上の広さを確保しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		日々、清掃を行い椅子や机の安全点検も	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		体調不良、不穏な時に自由に静養室を使用できる環境です。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	定期的なミーティングを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日頃から相談できる環境作りを心がけております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	日頃から相談できる環境作りを心がけて	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		FC本部内での情報共有によって
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	講演会の実施やFC本部運営のサイトで様々な学習ができるようになっています。	業務改善を図っていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		年間カリキュラムが構築されており 児童一人一人に応じたプログラム考案を しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		年間カリキュラムが構築されており 児童一人一人に応じたプログラム考案を しております。HPで公表もしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		指導員同士で出来事の共有を行っています。 策定会議でも内容の確認をとっています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		管理システムや紙ベースでもいつでも確認 できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		アセスメントの際にフォーマットを用いて 標準化された指標の下で各児童の状況把握共有し ています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		個別支援計画の策定設定されています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		定例ミーティングを行い、 活動プログラムの立案をチームで行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		活動プログラムは固定化しないように工夫 しております。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団活動を中心に行っていますが、プログラムの中に個別に取り組む活動を盛り込み特性に応じて必要な支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	その日に行う支援内容やプログラムの確認目的や役割分担等を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	管理システムに入力を行い誰もが確認できるようにしています。公休者や非常勤スタッフに対して共有ノートも作成して確認できるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		管理システムに日々の支援に関する記録をとり、支援の検証・改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的に保護者モニタリングを行っています。月ごとの振り返りも作成してご報告させていただいております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	児童の自己決定を尊重して支援を心がけております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		保護者のニーズのあわせて実施していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	4		保護者のご要望にあわせて、実施していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		必要に応じて今後、行って参ります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		保護者様のご意向を踏まえながら検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		保護者様のご意向を踏まえながら検討していきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			契約時に丁寧に説明を行っております。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			面談の機会に支援記録の内容を確認していただき、署名いただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			日々の送迎時に児童の状況をお聞きしています。モニタリングの時だけでなく、ご相談があればいつでもお伝えいただく環境です。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5			保護者会等は開催しておりませんが今後、保護者参加型のイベントの実施やご兄弟で参加できる場を作っていきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				苦情があった場合、状況の聞き取りや今後の改善策を立案しながら対応しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5				インスタグラムやLINEを用いて日々発信しております。入口にも掲示して周知活動をしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				職員の雇用契約時に個人情報保護に関する誓約書の提出を行っています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				特性に配慮した上で情報伝達の工夫をしております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3			地域での講演会の実施や地元企業へ社会見学も行かせてもらいました。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5				初回アセスメントで聞き取り、確認を行い記録を残しています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5				報告書を即座にまとめ、スタッフ全員に共有しています。法人内でも共有しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
53	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	5				虐待防止委員会の設置研修会を実施しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5					